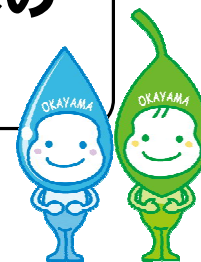


岡山市コンベンション戦略プラン（案）へのご意見の募集結果について



ご意見募集期間 平成24年11月30日から平成25年1月11日まで

資料配付場所 観光コンベンション推進課 行政資料室、
各区役所・支所・地域センター

ご意見の提出方法 ホームページからの入力フォーム、Eメール、FAX、郵送又は持参

ご意見の提出先 観光コンベンション推進課

ご意見の募集結果

(1) 提出者数： 7名(8件)

(2) 提出方法

入力フォーム	2件	Eメール	4件	FAX	2件
郵送	0件	持参	0件		

ご意見の概要

ご意見の概要とそれに対する本市の考え方は下表のとおりです。

ご意見の概要	本市の考え方
意義・方針に関すること	
コンベンションを推進する意義がよくわからない。	コンベンションは、関連産業の裾野が広く、経済波及効果が大いこと、また、開催を通じて人や情報などのネットワークが形成されることから地元の産業分野が活性化されます。また、ビジネス機会やイノベーションの創出効果が期待され、さらには都市の知名度、認知度が高まることにより、競争力・ブランド価値の向上につながるものと考えています。
コンベンション施策は、税金を使ってまでやる意義があるのか。	
交通アクセスの良さという強みを伸張するという方向性は妥当。	コンベンション主催者へのニーズ調査結果にあるとおり、本市の一番の強みは交通アクセスの良さにあると考えており、この機能をいかす方向性の誘致戦略を進めてまいります。
近県(香川県、鳥取県、広島県)などと比較し岡山が劣っている原因が示されていない。	本市の競合都市としての調査対象には、政令指定都市、本市と同規模以上のコンベンション施設がある、交通アクセスがよい、有力な大学がある、中四国地域の近隣都市であるなどの条件を設定し、札幌、大阪、神戸、広島、高松、北九州等12競合都市との比較としたものです。

このプランが目指すコンベンションシティとしての目標を設定すべき。	岡山市都市ビジョン「コンベンションシティ構築プロジェクト」において目標年度と成果指標を下記のとおり定めており、このプランにおいても、この指標を目標としてソフト面では「オール岡山の推進体制」の整備、ハード面ではコンベンションコンプレックスの構築に取り組んでいくこととしております。				
	コンベンション構築プロジェクト成果指標				
	指標名	H17年度	H22年度	H27年度	H37年度
	開催件数	48件	70件	80件	100件
年間参加者数	5.2万人	6.3万人	8万人	10万人	
箱物を作れば催事が誘致できると考えるのは大きな間違いで、企画力の問題ではないか。	<p>コンベンションシティ構築のため、ハード整備だけでなく、市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターを中心に関係団体等も加えた「オール岡山の推進体制」を構築し、催事の誘致・各種支援など受入環境の充実に取り組みたいと考えています。</p> <p>また、岡山ならではのアフターコンベンションやユニークメニューのメニューの開発・提供に取り組みたいと考えています。</p>				
大きな施設の必要性があったなら、岡山コンベンションセンター建設時に考えるべきだったのでは。	<p>岡山市駅元町地区第二種市街地再開発事業により平成13年6月に開館した岡山コンベンションセンターは、新幹線の停車駅直結という強みをいかし、高い稼働率を維持しています。</p> <p>しかし、近年の都市間競争の激化、コンベンション開催状況の変化等を踏まえ、新たな戦略を策定しようとするものです。</p>				
建物・規模に関すること					
既存施設の事業レビューがきちんと行え、有効活用を検討する外部組織を作るべき。	官・民が連携したオール岡山の推進体制を構築する中で、これまで以上に有効な施設のあり方や活用方法について検討してまいります。				

<p>3,000人規模の施設では不十分(中途半端)。</p>	
<p>間に合わせの小さなホール(会議場)を作るのではなく、もう少し時間をかけて土地を選定し、ちゃんとしたホールを作るべき。</p>	
<p>コンベンション開催時の総会などで一時的に集まる参加者に対しては、「岡山シンフォニーホール」の利用で対応するが、それ以上の大規模なコンベンションについては、開催件数や投資効果・維持管理面などを考慮すると、他の地区に任せるべき。</p>	<p>国内でのコンベンション開催状況や主催者のニーズ等から、「岡山駅前エリア」に1,000~2,000人を収容する主要ホールを増強することにより、3,000人規模の受け皿となる。本市のコンベンションコンプレックスを構築でき、現状で誘致を取り逃している可能性がある催事の誘致実現につながると考えています。</p> <p>また、実際の整備に際しては、「岡山駅前エリア」のコンベンションの集積をいかにさせる立地を前提として、民間事業者を含め、さまざまな可能性を検討するとともに、稼働率や維持費、具体的な費用対効果等、事業の成否を総合的に検証したいと考えています。</p>
<p>民間がやらないことを行政がやっても失敗すると思う。地方都市である岡山市に大型施設を作っても、人が集まるとは思えない。岡山市に大型施設がいくつものいるのか。</p>	
<p>施設の立地に関すること</p>	
<p>“ままかり”と“シティミュージアム”を高層・連結し、利便性を高めたランドマーク施設としてはどうか。</p>	
<p>旧後楽館中高校の跡地利用として、市民会館と市民文化ホールに加え、ボランティアフロア&NPOフロアやコンベンションも加えたランドマーク施設としてはどうか。</p>	<p>コンベンション参加者の移動の利便性を考慮し、既存施設の集積をいかにさせる「岡山駅前エリア」での施設増強が必要と考えており、実際の整備に際しては、民間事業者を含め、さまざまな可能性を検討するとともに、稼働率や維持費、具体的な費用対効果等、事業の成否を総合的に検証したいと考えています。</p>
<p>後楽館中学/高校跡地とオリエント美術館を合わせて、または、現市民会館・旧NHK・山陽放送・旧榊原病院一帯を合わせて、コンサート会場兼コンベンションセンターとして建て替えればよい。</p>	<p>また、「岡山カルチャーゾーンエリア」については、岡山城を使用した懇親会や、大会期間中及び終了後の飲食、買物、観光など、岡山らしい魅力的なおもてなしを充実させるため、個性的なメニューの開発に取り組んでまいります。</p>
<p>岡山駅南西の岡山駅東口駐輪場と一番街の上部の空き地に、コンベンションホールの建設を検討し、岡山駅前の既存ホテルと高架の連絡通路で繋げてはどうか。</p>	

<p>岡山駅前の既存ホテル・ビルの一部の階を借り上げ、又は、買収を検討し高架の連絡通路で繋げてはどうか。</p>	<p>(前ページと同回答)</p>
<p>コンベンションコンプレックスを構築するための具体的な方向性を示してほしい。</p>	
<p>駅に近い土地には、もっとみんなが喜ぶようなものを作ったらどうか。</p>	
<p>そ の 他</p>	
<p>分析の根拠としているデータが異なっているため、数字の意味が分からない。</p>	<p>国内会議・国際会議の分析においては、各種関係機関のデータ、岡山市の状況分析においては、おokayama観光コンベンション協会調べなど、内容に応じて、入手し得る好適なデータを用いています。</p>